



用賀中だより

学校だより 7月号
令和8年7月吉日
ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校

一人一人の力が、学校と地域を動かす

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利 慎治

厳しい暑さが続いております。保護者、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動を温かく見守り、お支えいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、生徒たちは一学期の学校生活を無事に終え、夏季休業を迎えることができました。

一学期を振り返ると、生徒一人一人が、自分の役割に責任をもち、仲間と力を合わせる姿を数多く見ることができました。運動会では、競技に全力で取り組む姿はもちろん、係活動や応援、準備や片付けなど、それぞれの場所で自分にできることを考え、行動する姿がありました。行事は、目立つ人だけでつくられるものではありません。一人一人の力が重なり合うことで、大きな行事が成り立つことを、生徒たちは実感したことと思います。

そして、一学期の後半、特に心に残ったのが、部活動に懸ける三年生の姿です。最後の大会や発表の場に向けて、仲間と声を掛け合いながら、一日一日の練習に真剣に取り組んできました。思うような結果が出ないとき、失敗が続いたときにも、互いに励まし合い、最後まで諦めずに努力する姿がありました。

私も、できる限り生徒たちの頑張る姿を直接見たいと思い、バイクで世田谷区内を巡りました。会場から会場へと移動し、試合や発表を見守る中で、学校では見ることでできない真剣な表情や、仲間を支える温かな声、顧問の先生方とともに最後まで戦い抜く姿に触れることができました。勝利の喜びを分かち合う姿もあれば、悔しさに涙を流す姿もありました。しかし、結果にかかわらず、三年間続けてきたこと、仲間と一つの目標に向かって努力してきたことは、これからの人生を支える大きな力になります。

部活動を通して身に付けるのは、技能や体力ではありません。自分を律する力、思いどおりにならない状況を乗り越える力、仲間と協力する力、そして相手の気持ちを考える力です。こうした非認知能力は、すぐに数字で表すことはできませんが、将来、自分の道を切り開いていくうえで大切な力となります。三年生が見せてくれた姿は、後輩たちにも確かに受け継がれていくことでしょう。

本年度、用賀中学校では学校運営協議会を設置しました。学校運営協議会は、学校、保護者、地域の皆様が、「ようがの街で地域とともにこどもを育てていく」を考え、力を合わせるための仕組みです。学校だけで教育を完結させるのではなく、地域の皆様がもつ経験や知恵、人と人とのつながりを生かしながら、生徒の学びと成長を支えてまいります。

七月の学校運営協議会では生徒の声を直接聞き、その声を地域との活動につなげる取組も実際に行いました。世田谷区子どもの権利条例が大切にしているように、実際に学校運営協議会に生徒も参加し、自分たちのやりたいことや、こうしてほしいという思いを直接伝える機会を設けました。その中で、ようがコミュニティクラブフェスティバルで出品をしたいこと、またボランティア活動に参加したいので早めに予定を示してほしいという具体的な声が寄せられました。こうした生徒の声を大切に受け止め、地域の皆様とともに実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

学校は、教職員だけの力で進んでいるわけではありません。生徒、保護者、地域、YCC、おやじの会、地域ボランティアの皆様など、多くの方々の力によって支えられています。一学期間、用賀中学校の生徒たちを温かく見守ってくださったすべての皆様に、改めて御礼申し上げます。二学期も、一人ひとりの声と力を大切にしながら、地域とともに、生徒が自ら学びをつくる学校を目指してまいります。



七月の学校運営協議会の様子

職場体験のためにマナー講座がありました！

2学期に行われる職場体験のために、2年生は挨拶や電話の応対方法などを2時間かけて講師の田部先生（普段は英語を教えていただいています）に教えていただきました。元キャビンアテンダントという経歴をお持ちなので田部先生の実体験から丁寧な対応を学ぶことができました。

ぜひ、職場体験の事前打ち合わせで上手に電話をかけてくれることを期待しています。貴重な体験になると思うので、今からとても楽しみです。



★★祝★★ 朝礼で表彰されました！おめでとうございます！

バドミントン部

世田谷区中学校バドミントン選手権 団体戦5位

棚網 あいさん(3年) 高橋 蓬さん(3年) 齋藤 花妃さん(3年)

牧野 友美さん(2年) 吉村 莉緒さん(2年) 溝川 奈乃果さん(1年)

個人戦ダブルス5位

棚網 あいさん(3年) 高橋 蓬さん(3年) ペア

男子バレーボール部

世田谷区夏季バレーボール大会 優勝

第2ブロック夏季バレーボール大会 準優勝 都大会へ

『多様な進路を考える会』『高校受験に関する講演会』は盛況でした！

6月18日(木)は9校の学校にお越しいただき、体育館でそれぞれの学校の特色を紹介しました。その後、個別でそれぞれのブースで質問等に答えさせていただきました。自分に合った学校に出会えるといいなと思います。また、7月11日(土)は都立と私立の違いや大学付属と通信制の違いなど高校受験を考えている生徒にとってとてもわかりやすい説明で、とても充実した時間になりました。ある高校の先生は目の前でドローンを飛ばしたり、留学の興味深い話を聞いたりすることができました。この夏休みに興味のある学校をたくさん見学してほしいです。



避難所運営訓練に力を入れています！

先日、6月20日(土)の雨の中、バレー部、サッカー部、バドミントン部、テニス部から約60人近くの中学生が集まり、ボランティアとして避難所運営訓練を行いました。当日は、備蓄倉庫から組み立て式トイレを運んで設置したり、ブルーシートを敷くなど、中学生ができることを考えたり、教えてもらったりしました。用賀中学校が避難所になった時、中学生は単に避難者としてだけでなく、避難所を支える大切な一員です。体力があり、学校の構造をよく知っている中学生だからこそできることがたくさんあります。例えば、備蓄倉庫からアルファ米や毛布、簡易トイレなどを運ぶ力仕事です。他には居住スペースを区切る段ボールパーテーションを組み立てることも仕事です。また、「トイレはこちらです」「受付はこちらです」という表示を作って掲示したり、避難してきた地域の方々を実際に案内したりすることもできます。お年寄りや話をしたり、必要なものを持ってきたり、あらゆる場面で力を貸してあげることが求められます。

北区の小学校では日頃から避難訓練をしっかり行っていたので、焦らず避難できたそうです。先日の避難訓練でも「訓練は本番のように、本番は訓練のように」という話がありました。いつどこでどんなことが起きても慌てず騒がず落ち着いて行動することが命を救うことにつながります。毎月ある避難訓練を真剣に取り組むようにしましょう。



★用賀中に令和9年4月に特別支援学級(知的障害)を開設します★

「知的障害特別支援学級」とは

- ・学級の生徒数は8名以内で、小人数グループで習熟度に応じた教科学習を実施します。
- ・生徒の状況に応じて、学校行事や一部の教科をともに学習する等、通常の学級との交流を行います。
- ・生徒の障害による学習及び生活上の困難を改善・克服することをねらいとした自立活動を実施します。

【対象となる方】

- ・知的発達の遅れにより、少人数での学習や集団生活が必要であること。
- ・他人との意思疎通に軽度の困難があり、日常生活を送る上で、一部援助が必要であること。
- ・当該年齢で求められる社会生活での適応が困難であること。

【お問い合わせ】世田谷区教育委員会 支援教育課 支援教育担当 電話 6453-1513